第 1 講　【古代編】世界の古代文明

PART5 南アジアの古代文明

Chapter1　インダス文明

目標　南アジアの地形が居住民族の文化に与えた影響を確認しよう。
インダス文明の特徴を理解しよう。

1　南アジアの地形と気候

①地形：世界最高峰の山々・砂漠・大平原・大河・高原など変化に富む

A　ヒマラヤ山脈からインド北東部を東に流れる〔　　　　　　　　〕川

B　ヒマラヤ・カラコルム山脈からインド北西部を南西に流れる〔　　　　　　　　〕川

インダス川流域は西アジアとの回廊

古くから異民族が侵入を繰り返す

→〔　　　　　　　　〕系と

〔　　　　　　　　〕系

多くの民族・言語・宗教が共存する独自の地方となる

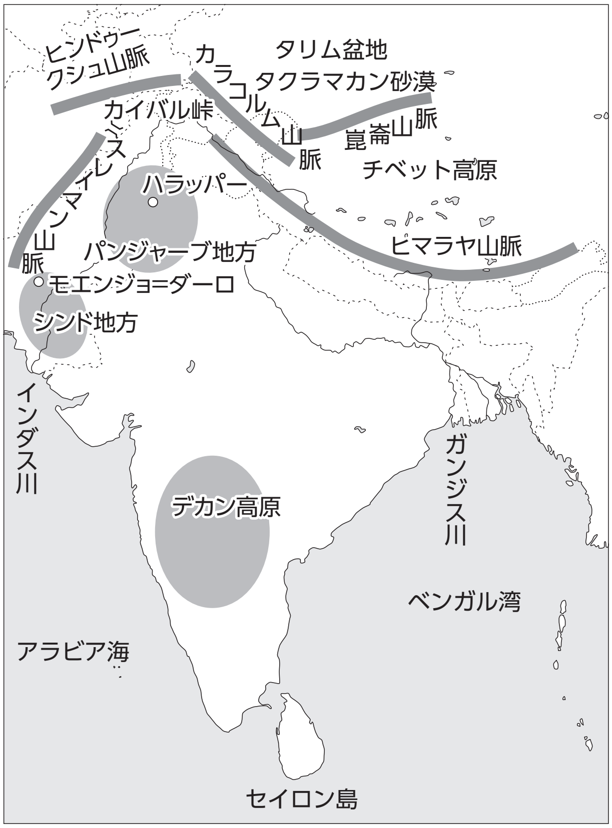
②気候：〔　　　　　　　〕（モンスーン）による明確な雨季と乾季

A　北部→夏・冬で大きな寒暖差

B　南部→年間を通じて高い気温

地形と季節風による雨が地域ごとに多様な自然環境を形成

→稲作・雑穀・小麦・綿花・放牧など，湿潤～半乾燥地域に適した農業が盛ん



南アジアの地形図

2 インダス文明の特徴

前 2600 年頃　インダス川流域に都市文明の〔　　　　　　　　　〕文明がおこる

※**ドラヴィダ系**の文明とされる。

①計画的な都市建設

すぐれた都市計画が特徴

A　〔　　　　　　　　　　　〕や

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕の都市遺跡

B　大沐浴場，穀物倉庫などの公共施設

C　道路や下水道

D　宮殿や王陵がなく，強大な王権を示すものがない

インダス文字

②遺跡からの出土品

A　〔　　　　　　　　　　　〕が刻まれた〔　　　　〕

→未解読

B　彩文土器

C　シヴァ神の原型と見られる像→南アジアの文明の源流

③前 1800 年頃までに衰退

インダス川流路の変更，気象の変化，異民族の侵入などが原因と考えられる

まとめ　インダス川流域は西アジアとの回廊となり，異民族が侵入を繰り返し独自の文化を形成していった。
すぐれた都市計画で建設されたが，宮殿など王権を示すものがなかった。

Chapter2　アーリヤ人の侵入とバラモン教

目標
アーリヤ人の侵入は，古代インド社会にどのような影響を与えたのだろうか。
バラモン教が成立した流れを学ぼう。

1　アーリヤ人の南アジア侵入

前 1500 年頃，インド＝ヨーロッパ語系の〔　　　　　　　　〕人が中央アジアから，カイバル峠をこえてインダス川上流域の〔　　　　　　　　　　〕**地方**に侵入。

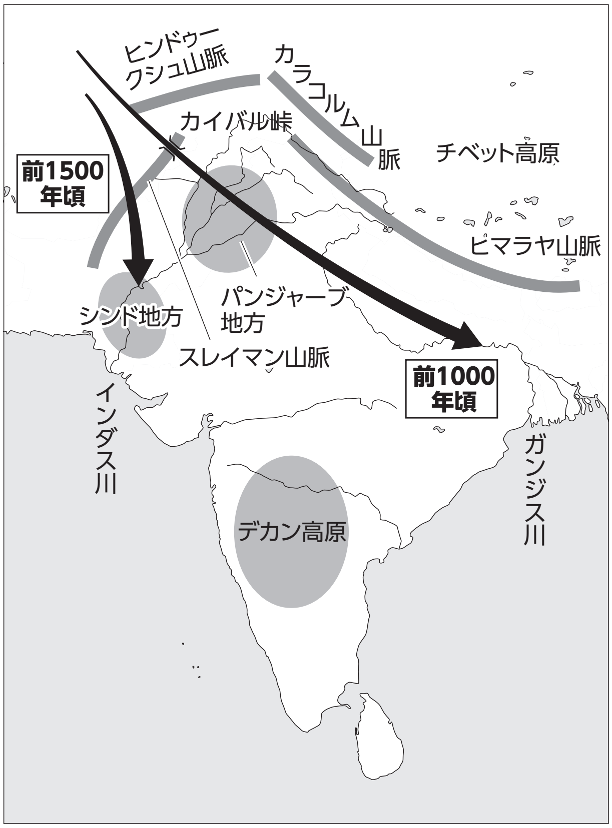
①馬と戦車により先住民を征服

②雷・火・風の自然現象を神として崇拝し，祭祀を行う

前 1000 年頃　ガンジス川中流域へ進出

③先住民を支配し，共に定着農耕社会を形成

④森林の開墾に鉄器を使用し，稲作には牛に引かせる木製の犂も使用



アーリヤ人の侵入図

2　カースト制とバラモン教の成立

アーリヤ人は農耕社会への移行の過程で，祭祀を主導する王や司祭などが支配階層を形成。

①階層身分制度〔　　　　　　　　〕制

A 〔　　　　　　　　〕（司祭）

B 〔　　　　　　　　　　　　〕（王侯・戦士）

C 〔　　　　　　　　　　〕（庶民）

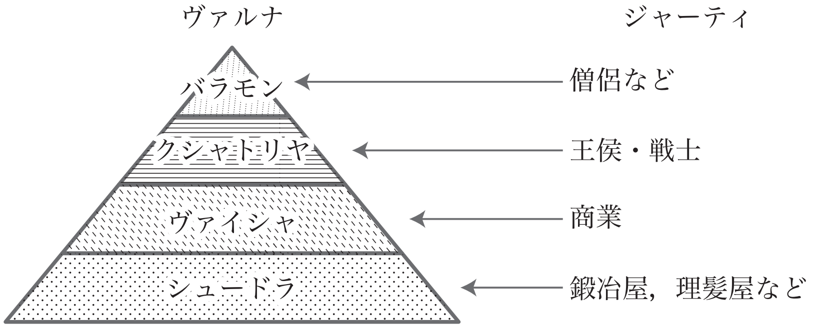
D 〔　　　　　　　　　　〕（隷属民・先住民）

→のちの〔　　　　　　　　〕（ジャーティ）制の基礎となる

②宗教的な知識を集めたインド最古の文献群は**ヴェーダ**と呼ばれ，その中で

〔　　　　　　　　　　　　　　〕は最古

→ヴェーダを聖典として司祭者がつかさどる宗教である〔　　　　　　　　〕教が成立した



カースト制

まとめ

アーリヤ人の侵入により先住民が支配されてゆき，カースト制と呼ばれる身分制度が成立していった。

バラモンたちの祭祀を中心として，ヴェーダを聖典とするバラモン教が成立していった。

第 1 講　PART5　確認問題

1 ヒマラヤ山脈からインド北東部を東に流れる川は何か。

① ナイル川　② ティグリス川
③ ガンジス川　④ インダス川

2 南アジアや東アジアなどで吹く，季節によって風向きが逆転する風を何というか。

① モンスーン　② 偏西風
③ 局地風　④ シロッコ

3 前 2600 年頃にインダス川流域におこった南アジア最古の都市文明は何か。

① エーゲ文明　② インダス文明
③ クレタ文明　④ ミケーネ文明

4 南アジア最古の都市文明を代表する遺跡はハラッパーとどこか。

① バビロン　② クノッソス
③ トロイア　④ モエンジョ = ダーロ

5 前 1500 年頃に中央アジアから，インダス川中流域のパンジャーブ地方に侵入したインド = ヨーロッパ語系の民族は何か。

① ドラヴィダ人　② アーリヤ人
③ シュメール人　④ ヒッタイト人

6 宗教的な知識を集めたインド最古の経典の中で，神々への賛歌集は何か。

① リグ＝ヴェーダ　② サーマ＝ヴェーダ
③ ヤジュル＝ヴェーダ　④ アタルヴァ＝ヴェーダ

7 アーリヤ人が形成した身分制度は何か。

① クシャトリア　② ヴァイシャ
③ ヴァルナ　④ シュードラ

8 ヴェーダを経典とし, 多神教でのちのヒンドゥー教の母体ともなっている宗教は何か。

① ユダヤ教　② バラモン教
③ シャーマニズム　④ ゾロアスター教

第 1 講　PART 5　確認問題　解答

1 解答：③　インド北東部を東に流れる川は**ガンジス川**。インド北西部を南西に流れる川はインダス川である。

2 解答：①　季節によって風向きが逆転する風を**モンスーン（季節風）**という。

3 解答：②　インダス川流域におこった**インダス文明**は，すぐれた都市計画による建物群が特徴である。

4 解答：④　インダス文明を代表する最古の遺跡は，インダス川中流域のハラッパーと下流域の**モエンジョ゠ダーロ**である。

5 解答：②　インダス川中流域のパンジャーブ地方に侵入したのは**アーリヤ人**である。

6 解答：①　アーリヤ人の宗教的な知識を集めた文献群をヴェーダといい，その中の**神々への賛歌集**は『**リグ゠ヴェーダ**』である。

7 解答：③　**アーリヤ人**が先住民を征服しながら形成していった厳格な身分制度を**ヴァルナ**という。

8 解答：②　**バラモン教**は，インド各地の民間信仰や慣習を融合しながらインドの民族宗教のヒンドゥー教となった。